# 第58回 2025 建築設備技術会議

# お申し込みについて

申込締切:2025年10月31日(金)17:00まで

※上記以降の申込は、満席を除き当日会場での受付となりますので名刺をご持参のうえ、ご来場ください。



コン(各種検索サイト)からダイレクトで

セミナーID(半角数字) JMA 100315

で検索

もしくは、https://school.jma.or.jp/

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方は JMAマネジメントスクールまでお問い合わせください。 E-mail: seminar@ima.or.ip



### 参加料 (消費稅込)

セッション区分参加者区分	合計1~3セッション	合計4セッション以上 (★一度の申込のセッション数に適用されます)
A:建築設備技術者協会会員 B:日本能率協会会員 C:建築設備士登録者(本人のみ)	22,000円/1セッション	19,800円/1セッション
D:後援·協賛団体会員	23,100円/1セッション	20,900円/1セッション
E:官公庁·大学	12,100円/1セッション	
F:上記外	24,200円/1セッション	22,000円/1セッション

テキスト合本販売価格(消費税込)	S1~S8参加者 <b>27,500</b> 円/冊	左記以外 <b>35,200</b> 円/冊
------------------	-------------------------------	---------------------------

①参加料には申込セッションのテキスト代が含まれています。

- ②建築設備士登録者の場合、ご本人以外の方の交代参加、代理参加は 認められません。ご本人が参加できない場合はキャンセル扱いとさせて
- ③「官公庁・大学」の区分対象には、国や自治体の所管する各種法人は
- 参加料請求先は所属する「官公庁・大学」のみとさせていただきます。 •法人会員ご入会の有無につきましては、下記にてご確認ください。 一般社団法人建築設備技術者協会
- https://www.jabmee.or.jp/membership-info/ 一般社団法人日本能率協会 https://member.jma.or.jp/
- ④合本のみお申し込みの方は、会期終了後に制作しますので、11月末に お送りいたします。

### 参加定員 130名/日

参加者のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。 代理の方もご都合がつかない場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受け ますので予めご了承ください。 開催初日から8日前以前(開催初日を含まず)・・・・・無料

開催初日から7日前~当日 (開催初日を含まず)・・・・・・・・・・・参加料全額 (万一キャンセルの場合は必ずメールあるいはお問い合わせフォームでご連絡ください)

一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は小会の ホームページにて個人情報等保護方針 (https://www.jma.or.jp/privacy/) を で覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催しに関する 確認連絡・実施および小会主催の関連催しのご案内を送付する際に使用させて いただきます。

### プログラム内容に関するお問い合わせ先(企画担当)

### 一般社団法人日本能率協会 産業振興センター

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 TEL: 03(3434) 1988(直通) E-mail: tech-con@jma.or.jp

### 申込に関するお問い合わせ先(参加証・請求書・キャンセル・変更などに関する内容

JMAマネジメントスクール TEL: 03(3434)6271 電話受付時間 月~金曜日9:00~17:00 ただし祝日を除く

E-mail: seminar@jma.or.jp

### 会場案内 AP東京八重洲

〒104-0031 東京都中央区京橋1-10-7 KPP八重洲ビル 11階 L+Mルーム

電話:03 (6228) 8109



### 【交通のご案内】

「東京駅 | 八重洲中央口より徒歩6分

「日本橋駅」徒歩約5分、「京橋駅」徒歩約4分 ● 東京メトロ銀座線 ■ 都営浅草線 「宝町駅 | 徒歩約4分

### 2025 建築設備技術会議 企画委員

立命館大学 理工学部 建築都市デザイン学科 教授 立命館サステイナビリティ学研究センター長

明治大学 理工学部 建築学科 教授

アズビル(株) システムカンパーー 計装本部 ㈱NTTファシリティーズ 東日本事業本部

都市,建築設計部 設備設計部門 部門長 杉岡 直紀 大阪ガス㈱ エナジーソリューション事業部

石崎 陽児 ㈱大林組設計本部設備設計部部長

溝畑 重利 鹿島建設㈱ 建築設計本部 勝 関西電力㈱ ソリューション本部 調査開発グループ

(株)関電工 営業統轄本部 コストエンジニアリングユニット エンジニアリング部 (設計担当) 副部長

真史 ㈱久米設計 環境技術本部 シニアエキスパート 英嗣 国十舘大学 理丁学部 理丁学科 建築学系 教授 村上 孝幸 清水建設㈱ 設計本部 設計企画部 DX推進グループ グループ長

新日本空調(株) 首都圏事業本部

片桐 貴志 新菱冷熱工業㈱ 首都圏事業部 設計一部 次長 柴田 康平 ダイキン工業㈱ 空調営業本部

テクーカルエンジーアリング部 技術担当課長

**豐厄 節之** 大成建設機 設計本部 設備計画部 部長 藤崎 将彦 高砂熱学工業㈱ 東京本店設計部 設計3課 課長

小池 正浩 ㈱竹中工務店 東京本店 設計部 シニアチーフエンジニア 立也 千葉大学 大学院工学研究院 創成工学専攻建築学コース 准教授

百田 真史 東京電機大学 未来科学部 建築学科 教授 吉村 文利 東京電力エナジーパートナー(株)

佐藤 孝輔 ㈱日建設計 エンジニアリング部門 設備設計グループ 部長 弘之 ㈱日本設計 第2環境·設備設計群 副群長

大塚 光雄 日比谷総合設備㈱ LC 営業統括本部 副本部長 中村 光良 ㈱三菱地所設計 機械設備設計部 ユニットリーダー

~30の最新事例から探る、建築設備の課題解決と進化~

般財団法人日本科学技術連盟

-般社団法人日本空調衛生工事業協会

-般財団法人日本建築センター

一般財団法人日本建築設備・昇降機センター

2025年11月4日(火)~7日(金)4日間

AP東京八重洲 (東京都中央区京橋1-10-7 KPP八重洲ビル)

カーボンニュートラル ~ 建物評価事例 ~

カーボンニュートラル ~要素技術~

**S3 ZEB** ~ 『 ZEB 』 改修事例と改修に向けた方策 ~ 月

ZEB ~ 新築計画における「ZEB」への挑戦と環境建築の在り方 ~ (水)

**S5** DX ・スマート 最前線 ~ さらなる変革への挑戦 ~

**S6** ウェルネスオフィスのその後 ~ 取り組み内容とその実績の検証について ~ (木)

**S7** 建築設備へのAI活用

データセンターの現在と未来 ~ 設計手法から次世代技術まで

お申し込み者には、「第47回 Japan Home Show & Building Show2025」の ご案内状を進呈いたします。 https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo/

建築設備技術者協会WGの 報告をExtra Sessionで

お届けします(S6)

(由請中)

(申請中含む)

公益社団法人空気調和・衛生工学会 国土交通省

一般財団法人日本規格協会 一般社団法人日本建設業連合会 一般社団法人日本冷凍空調工業会 -般社団法人日本建築学会

一般社団法人電気設備学会 一般社団法人日本保温保冷工業協会 一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会 一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会 日本暖房機器工業会 公益社団法人全国ビルメンテナンス協会 公益社団法人ロングライフビル推進協会 公益社団法人日本建築士会連合会 一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター

一般社団法人日本建築士事務所協会連合会

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 -般社団法人リビングアメニティ協会 -船补団法人 住宅生産団体連合会 -般社団法人建築設備綜合協会

### 「建築設備技術会議」は、 建築CPD情報提供制度の認定プログラム(申請予定)です。

本会議は、1セッション(半日)で3単位取得できます。

·般社団法人建築設備技術者協会は、建築CPD 情報提供制度に参加しています。 最新の活用状況は、公益財団法人建築技術教育普及センターホームページ

https://www.jaeic.or.jp/navi\_cpd/index.html をご参照ください。

最新の情報・お申し込みは

JMA 100315



10:00 ~13:00

# 11月 4日(火)

**S1** 

カーボンニュートラル ~ 建物評価事例

© 伊香賀 俊治 (一財)住宅・建築SDGs推進センター 理事長

## ■ 大成建設グループ次世代技術研究所における ゼロカーボンビルの取組み

- ◎ 脱炭素社会に向けた当社の取り組み
- ◎ ゼロカーボンビルの計画 エネルギーからカーボンへ -
- ◎ 次世代研究所における取組事例
- 图 砂賀 浩之 大成建設㈱ 設計本部 設備設計第三部 設計室 室長

## 2 既存建築再生による持続可能な建築への取り組み

- ~ストック建築におけるホールライフカーボン評価事例~
  - 既存建築再生の意義
  - ◎ 改修事例における多様な再生手法とホールライフカーボンの削減 JMAビル/竹中セントラルサウス/大阪避雷針工業神戸営業所
- ◎ ホールライフカーボン評価とこれからの既存建築活用
- S 上田 昭彦 (株)竹中工務店 東京本店 設計部 FM設計部門 FM設計2グループ長

### 3 Regenerative Tree

- 生涯のCO2排出量を最大40%削減する次世代超高層ビルの プロトタイプ
- ⑤ 杉原 浩二 ㈱田建設計 設備設計グループ ダイレクター

建物の低炭素化に対する要望の高まりと共に、昨年に建築物ホールライフカーボン算定ツール(J-CAT)の提供が始まったことで、建物のホールライフカーボンの評価事例が増えつつある。ここで集積されていくデータに基づく分析が進むことで、建物構造別の傾向等、建物仕様がカーボン排出に与える影響が明らかになりつつある中、建築設備に関しても議論が深まることが

本セッションでは、建築設備を含めたホールライフカーボンを詳細に評価した事例を紹介頂くことで、この議論の一助となることを期待する。

# **S2**

# カーボンニュートラル

14:00

~ 要素技術 ~

[C] 樋山 恭助 明治大学 理工学部 建築学科 教授

### ■ 須磨シーワールドの熱源水ネットワークとコミッショニング

- ◎ 水族館における常時の省エネと非常時のBCP重要性について
- トータルコミッショニングの取り組みと成果について
- S 原瀬 拓也 ㈱竹中工務店 大阪本店 設計部 設備第4部門 設備3グループ チーフエンジニア

### **図 東京電力東尾久ビル本館の蓄熱システムによる** 省エネルギーと需要シフトの取り組み

- リニューアルZEB建物の性能検証
- 既存蓄熱式空調システムの省エネルギー改修と運転改善 蓄熱システムの省エネルギーと需要シフトの取り組み
- S 久保井 大輔 東京電力ホールディングス(株) 土木・建築統括室

### スペシャリスト 3 再エネを最大限に活用する需給一体型EMSと

- グリーン水素の利活用 ~大成ユーレック川越工場における事例紹介~
  - 再工ネを最大限に活用する需給一体型EMSの開発・実証
  - 500kWワンパック固体高分子(PEM)形P2Gシステム(第1号機)によるグリーン水素製造
  - ◎ 水素利活用システムの構築・実証
- S) 小林 信郷 大成建設(株) クリーンエネルギー・環境事業推進本部 理事

   ZEB・スマートコミュニティ 部長

### 4 2050年カーボンニュートラルに向けた 都市ガス業界の取り組み

- 実現に向けたロードマップ
- 供給サイドの取り組み:e-メタンに係る技術開発・実証
- 需要サイドの取り組み:都市ガスの高度利用、面的融通、オンサイトCCU
- S 伊藤 あすか 東京ガス(株) C&BSカンパニー 企画部 エネルギー公共グループ
- カーボンニュートラル社会の実現に向けてエネルギー供給の排出原単位の低減が鍵となるが、 その実現に向けて、供給側にとどまらず需要側を含めたエネルギー供給網の高度化が求められ

ている。 本セッションでは、変動する再生可能エネルギーの出力をカバーするよう、デマンドレスポンスを 効果的な運用を実現する手段として再注目される蓄熱システムや中長期の需給構造の平準化に 貢献するP2Gシステムのほか、CCS/CCUSといった排出をオフセットする技術の動向を、建物 への導入やエネルギー業界での取り組みを踏まえ解説頂く。

# 11月 5日(水)

### **S3** ZEB

~ 『ZEB』 改修事例と改修に向けた方策 ~

[C] 原 英嗣 国士舘大学 理工学部 理工学科 建築学系 教授

### ■ 須賀工業九州支店 ストック建築物における 別空調ZEBモデル・ウェルネスオフィスの実現

- コンセプト・Nearly ZEBの取組
- 運用1年目の実績報告
- ⊙ ウェルネスオフィスの取組 S 鈴木 正美 須賀工業(株) 執行役員 経営企画本部 事業企画室長

### 2 既存庁舎のZEB化改修事例に見る 公共施設ZEB化の傾向と課題

- 既存公共建築物(庁舎)のZEB事例
- 既存公共建築物のZEB化における導入技術の傾向分析
- 公共建築物ZEB化の課題
- S 田川 晋 備前グリーンエネルギー(株) 事業部 コンサルタント

### 日 "ゼノベ" プロジェクト 築57年の日建一号館ビルの環境改修

- "ゼノベ" プロジェクトの取組背景
- 環境価値 (ZEB Readyの達成) と経済価値 (投資リターンの確保、不動産
- 価値の向上)の両立を目指す環境改修 ● 既存築古ビル改修における課題
- ⑤ 田中 宏昌 (株)日建設計 エンジニア部門 設備設計グループ 部長

### 4 脱炭素社会に向けた

# 既存ストックのZEB改修のあり方 の 既存ストックにおけるZEB改修の現状

- 既存ストックにおけるZEB改修の課題
- 今後目指すべきZEB改修のあり
- S 竹部 友久 (株)日本設計 執行役員 第1環境 設備設計群長

建築物全体のなかで、既存建築物が占めるエネルギー消費量の割合は多く、改修によるZEB化は 産業物学体のなかで、既行建築物か占のるユイルドー消費量の割合は多く、成修によるZEB代は、 カーボンニュートラル実現に向け有効な手段と考えます資量の割合は多く、成修によるZEB代とが、 ビル、庁舎について、断熱性能の向上、高効率機器の導入、創エネなどにより、ZEB化を達成した 事例を紹介します。中には、ZEB化と併せて、執務エリアのリノベーションにより従業員の快適性も 向上した事例もあります。また、ZEB化事例に加え、省エネ改修に向けた方策として、省エネ改修の 現状、問題点、課題、ポイントなどについて解説した講演も行います。設計・施工関係者、建物管理・ 所有者、利用者など様々な立場の方々へ、提案および課題解決の一助となればと考えています。

# **S4**

# **ZEB** ~ 新築計画における

『ZEB』への挑戦と環境建築の在り方 ~

[C] 百田 真史 東京電機大学 未来科学部 建築学科 教授

### ■ クボタグローバル技術研究所

- ~大規模建築物におけるNearly ZEBの実現と実証~
- 大規模建築物におけるZEBへのアプロー
- 省エネルギーとウェルネスを両立した設備計画
- 運用段階におけるZEBの実証
- 图 齋藤 悠輔 (株)大林組 設計本部 大阪設備設計第三部 課長

- ~都市型防災庁舎の実現と脱炭素社会に向けた取り組み~
- 建築・設備の融合した空調換気システム
- 排熱と再工ネ熱を最大限活用した高効率複合熱源システム
- 高い防災性能とZWBを追求した水循環システム
- S 高橋 雄太 (株)久米設計 環境設備設計本部 機械設備設計室 主管

## 引 大規模宿泊施設のZEB化と

- ホテル運営に配慮したエネルギーマネジメント
- 別府温泉 杉乃井ホテル 「宙館」 におけるZEB認証事例について ● 大規模露天風呂を有する浴場施設の省エネルギーについて
- ホテル運営に配慮したエネルギー評価指標の提案とエネルギーマネジメントの実践
- S 小川 健次 鹿島建設(株) 建築設計本部 設備設計統括グループ 環境·エネルギー統括グループ グループリーダー

### 4 病院ZEBの普及に向けた、小田原市立総合医療 センターにおけるZEB Ready実現の取組み

- ● 病院のZEB化に向けた具体的な省エネ技術

- S 白石 晃平/巽 大輝 (株)竹中工務店 東京本店 設計部 設備第2部門

午前中のセッションに引き続きZEBの最新事例について、本セッションでは新築計画での取り組みを解説します。カーボンニュートラル社会の実現に向け、「2030年には新築についてZEB水準の省エネ性能の確保を目指す」という高い目標を掲げ、それに向けZEB水準が環境建築のあるべき姿 日本子はRevierは日はリュリントリョウは日味であり、これに同りプロリンスといる中が現場を必める。こととして定着しつつはあります。本ミッションではZEB基成が困難とされる大規模病院での事例、 快適性・健康性にも配慮しながら計画だけにとどまらず運用の面で省エネルギーを実現している 事例、省エネにとどまらす水資源の有効活用(ZWB)・レジリエンスの3要素を実見ている事例を 取り上げZEBの幅広い普及のみならず、今後の環境建築の在り方についてディスカッションします。

# 11月 6日(木)

### **S5** DX・スマート 最前線

~ さらなる変革への挑戦 ~

© 田中 英紀 名古屋大学 施設·環境計画推進室 教授

### ■ 東京ポートシティ竹芝における スマートビルの取り組み事例と今後の展望

- SynapSpark/SoftBankのスマートビル事業概要
- ◎ ポートシティ竹芝における様々な取り組み
- ビルOSを活用した今後のスマートビルの展望
- ⑤ 古澤 真宏 SynapSpark㈱ ソリューション企画部 部長 兼 事業戦略室 担当部長

### 2 OKI本庄工場H1棟 生産施設における ZEFの取り組みとスマートファクトリーの展望

- ゼロエネルギーファクトリーZEFの構築
- OKI本庄工場H1棟での取り組み事例
- ◎ スマートファクトリーの今後の展望
- S 信藤 邦太 大成建設(株) 設計本部 設備設計第三部 シニアエンジニア

### **図 エスコンフィールドHOKKAIDOにおける** デジタル戦略

- ◎ プロジェクト全体構想
- ICT戦略と設計思想
- 開業後のスタジアムDX
- S 杉本 弘道 (株)大林組 東京本社エンジニアリング本部 情報エンジニアリング部 担当部長
- S 森岡 裕史 ㈱ファイターズスポーツ&エンターテイメント ICTシニアアドバイザ

現在、あらゆる業界で変革が求められる中建築設備分野においても進化を目指した多様な取り組みが進んでいます。サステナブル社会実現、エネルギー効率の向上、利用者の快適性向上など多角的な視点から技術革新が求められています。 本セッションでは、スマートビル、スマートファクトリー、スマートスタジアムにおける最新のDXとスマート化技術の導入事例を紹介します。それぞれの業界をリードする実践者の皆様から課題解決の手法や新たな価値創出へ取り組む挑戦を紹介します。最新の技術革新と実践的な知見を組み合わせることで建築設備分野の新たな未来への道筋が拓かれることを期待します。

### **S6** ウェルネスオフィスのその後

~ 取り組み内容とその実績の検証について ~

□ 林 立也 千葉大学 大学院工学研究院 創成工学専攻 建築学コース 准教授

# ■ 東京支社における 移転後のオフィス環境変化のフォローアップ

- 移転の背景と目的について○ ハード面、ソフト面でのオフィス環境変化の見える化の取組み○ 移転後のデータ分析とその結果によるオフィス環境改善と変化のフォリー
- ⑤ 松瀬 達也 ダイキン工業(株) 東京支社 担当部長(兼)人事本部 人事・労政・労務グループ担当部長(兼)総務部 総務グループ担当部長

# 2 伊丹市新庁舎:スマートウェルネスオフィスで進化する自治体モデルスマートウェルネスオフィスを認証した大規模庁舎である伊丹市新庁舎を整備モデルに至け、その取り組みの経緯から実施運用に至る特徴を発表。

- ⊙ 新庁舎整備と働き方改革
- 動き方改革とスマートウェルネスオフィス効果と運営課題 S 中西 寛 伊丹市 総合政策部 経営戦略室 ヒューマンリソース戦略課 課長

# 

- オフィス環境デザインのコンセプトとして、「人の個性に呼応し、オフィス環境の魅力につなげる環境の個性づくり」を掲げた日本設計オフィスにおける運用フォローアップ活動の紹介
- □環境DXJシステムで、オフィス環境や利用状況をデータとして把握し、自律的に働くワーカーが集っオフィスにふさわしい、自律的エネルギーマネジメントの構築を目指している。
   ウェルネスやエンゲージメントに関する単一調整を関する場合では、データトコルネスやエンゲージメントに関する単一調整を関する。 でオフィスの持続的な成長を目指す。

### ⑤ 佐々木 真人 ㈱日本設計 第1環境・設備設計群 副群長 4 清水建設名古屋支店オフィス

- ~人と人がつながる『コミュニケーションHUB』~ ● ABW・WELL認証の取り組み● コミュニケーションを誘発する仕掛け● 運用時の定点観測によるモニタリング
- S 盛川 岳穂 清水建設(株) 設計本部 設備設計部2部 主任

## Extra Session 最近のオフィスについての調査報告 JABMEE技術委員会/健康WGの活動報告最近のオフィス調査ABWとウェルネスオフィス

S 宮坂 裕美子 (株)日建設計 執行役員エンジニアリング部門 設備設計グループ 代表

ウェルビーイングという用語が取府の資料にも登場するようになり、ビジネス界でもESGという言葉が一巡した。建築業界では、省エネ・脱炭素の加速に加えて、ワーカーの健康性・知的生産性向上を目指すウェルネスオフィスという概念が整理され、その先行優良事例も数多く紹介されつつある。一方で、それらウェルネスオフィスが竣工後どのような状況となっているかについては、十分な知見が蓄積されていない。そのため、本セッションでは、当初計画のの後について、運用段階のフォローアップに尽力されている4事例について紹介する。これら情報の共有により、今後の業界におけるウェルネス建築の取組みのさらなる発展に貢献する。

# 11月 7日(金)

**S7** 10:00 ~13:00

# 建築設備へのAI活用

□ 近本 智行 立命館大学 理工学部 教授/サステイナビリティ学研究センター長

## ■ 建築設備のスマート化を加速するAI技術

- ◎ デジタルツインでのAI活用 ◎ 空調設備フォルト検知での活用
  - 解析業務の省人化に向けた生成AI活用検討
- S 大曲 康仁 アズビル(株) 国際事業推進本部 東南アジア戦略企画推進室
- 開発グループ グループマネージャー
- 2 立命館大学OIC
  - H棟におけるキャンパスDXと生成AIによるUX
  - 立命館大学OIC H棟におけるスマートビル基盤(ビルOS)の適応と研究 活動への展開
  - ビルOSのアーキテクチャ及びアプリケーションの活用
  - ビルOSのビックデータを用いた生成AI(LLM)の検証とUXの試行 ⑤ 高橋 雅生 ㈱竹中工務店 情報エンジニアリング本部 情報エンジニアリング 1 グループ 主任

### 3D LiDAR を利用した人流計測システム

- LiDAR技術について
- LiDARを用いた人流計測システムの開発
- 本システムの実物件への適用
- 🗵 大浦 理路 (㈱日建設計 デジタルソリューション室 アソシエイト

### 4 世界のスマートビルディング

- ◎ アメリカのスマートビルディング
- ヨーロッパのスマートビルディング ⊙ アジアのスマートビルディング
- ⑤ 向井 一将 Arup アソシエイト 環境設備2リーダー

Alは建築設備分野において、設計から運用まで幅広い革新をもたらしています。本セッションでは、 最新のAl活用動向を紹介するとともに、生成Alを活用したユーザーエクスペリエンス(UX)の向上、 人流計測システムによる空間最適化、さらにビル管理における予兆保全やエネルギー効率改善の 事例を取り上げます。データ駆動型の意思決定やスマートビルディング実現に向けた実践的アブ ローチを議論し、AI導入の可能性と課題を明らかにします。

# **S8**

### データセンターの現在と未来 ~ 設計手法から次世代技術まで ~

□ 石崎 陽児 (株)大林組 設計本部 設備設計部 部長

# ■ IT機器の変遷と冷却設備の対応

- IT機器の変遷 • アイルキャッピングとエアサイドエコノマイジング
- ◎ リキッドクーリングとウォーターサイドエコノマイジング

### 図 栩木 学 ㈱日本設計 第1環境・設備設計群 フェロー

- 2 次世代データセンターの概要
  - NTTファシリティーズの次世代データセンターへの取り組み ◎ 次世代データセンターモデルについて
  - 省エネシステムと地域貢献への取り組み S 安食 純也 (株)NTTファシリティーズ データセンター

## 図 AIサーバーの冷却技術動向と課題

- データセンターの変遷とAIが建物に与える影響について ● AIサーバーの冷却技術動向について
- Alサーバー受け入れのための課題とアプローチについて ⑤ 黒瀧 晃平 ㈱NTTデータ テクノロジーコンサルティング事業本部

エンジニアリング事業本部 担当部長

テクノロジーコンサルティング事業部 課長代理 S 石倉 結花 日比谷総合設備(株) 技術戦略本部 技術研究所 技師

### 4 サーバーの安定稼働を支える電源・配電計画

- 国内データセンターの市場について ● 電源システムに求められる条件
- ◎ 電源システム構成について
- ⑤ 加藤 元紀 ㈱日建設計 エンジニアリング部門・アソシエイト

生成AI等の爆発的な普及によりデータセンター建設需要が今後ますます高まるものと想定されています。これに伴いデータセンターの電力消費量は著しい増加傾向にある一方、政府は2040年までのデータセンターのカーボンニュートラルの目標を掲げており、その実現に向けて 2040年までのアーダセノダーのカーホノーュートンルの日標で記述している。この人がによっています。 多方面で検討が進められています。 本セッションでは、データセンターの信頼性担保に重点をおいた設備設計手法に始まり、最新の 水冷・液浸といったサーバー冷却技術動向や電源・配電計画、そして次世代のデータセンター のあるべき姿まで講演いただきます。皆様にとって有意義なセッションとなれば幸いです。

### プログラム内容(発表テーマ・スピーカ・発表の順番等)は変更になる場合がありますので予めご了承ください。